

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

平成20年度 決算 特集

報告 彦根市の財政

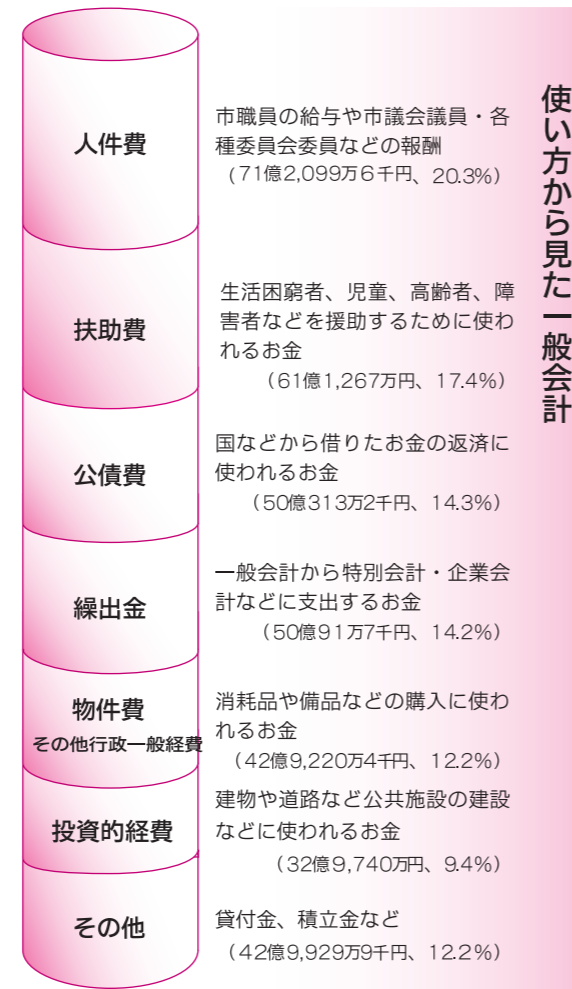
平成20年度の使い道をお知らせします

彦根市では「市民がつくる、安心と躍動のまち」を実現するため、さまざまな事業を行っています。その費用は、市民の皆さんの税金をはじめ、さまざまななかたちで賄(まかな)われています。

昨年度、彦根市はどのように入収入を得て、また何に使ったのでしょうか。平成20年度の決算がまとまりましたのでお知らせします。



平成20年度の一般会計の決算額は、歳入が357億2,395万円、歳出が351億2,661万8千円となり、前年度と比べて、歳入で0.3%の増額、歳出で1.2%の増額となりました。内訳については、グラフや円柱の図のおりとなり、特別会計・企業会計については左の表のとおりとなります。



特別会計

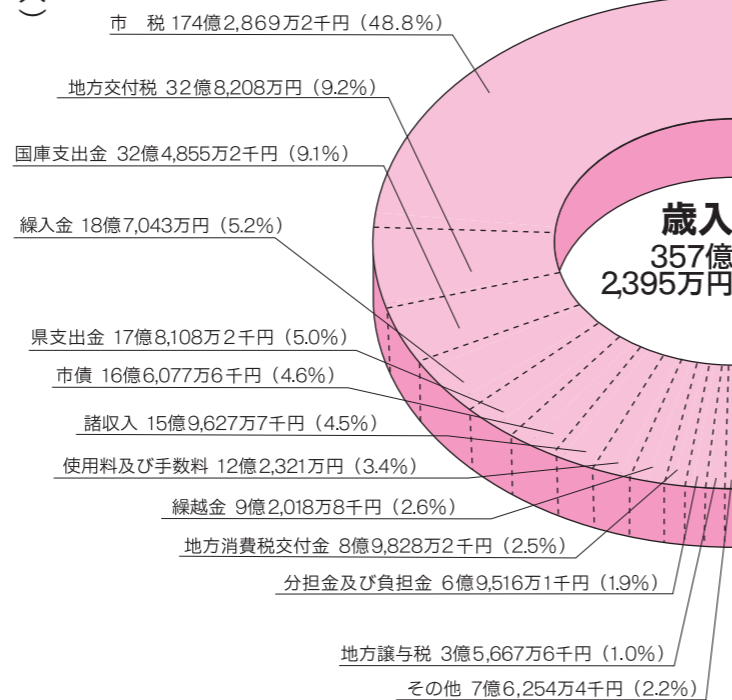
会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	87億7,266万円	87億6,780万円
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	2,995万2千円	1億3,995万6千円
下水道事業	94億7,459万3千円	93億7,525万3千円
休日急病診療所事業	6,798万2千円	5,471万3千円
老人保健事業	9億2,190万9千円	9億7,583万5千円
農業集落排水事業	3億575万1千円	3億575万1千円
介護保険事業	52億5,883万円	52億2,924万7千円
後期高齢者医療事業	7億9,795万2千円	7億8,568万4千円

企業会計

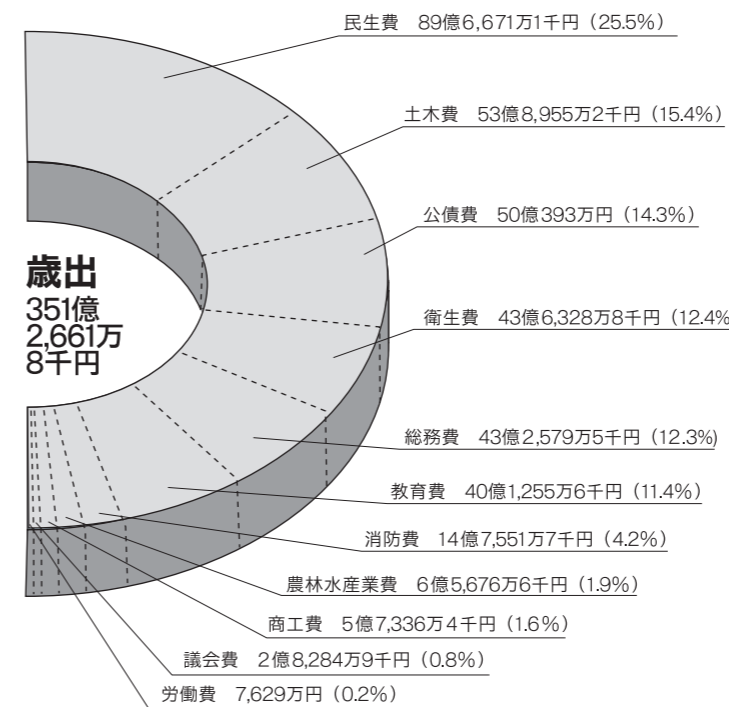
会計名	収入額	支出額
病院事業	85億9,783万4千円	91億3,681万8千円
水道事業	21億614万円	19億1,644万7千円

- 市税：皆さんが市に納めた税金
- 地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されたお金
- 国庫支出金：特定の目的の財源として国から交付されたお金(補助金など)
- 繰入金：特定の目的のために積み立てているお金を使うために取り崩したお金
- 県支出金：特定の目的の財源として県から交付されたお金(補助金など)
- 市債：大きな事業を行うために国などから借り入れたお金  
《一般会計市債現在高 347億8,208万8千円》
- 諸収入：ほかの収入科目に含まれない収入(預金利子など)
- 使用料及び手数料：市の施設の使用料や住民票をはじめとする証明書などの交付にかかる手数料
- 繰越金：前年度から繰り越されたお金
- 地方消費税交付金：県が徴収した地方消費税の一部から市へ交付されたお金
- 分担金及び負担金：市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めたお金
- 地方譲与税：国が徴収した税金のなかから、一定の基準に基づき譲与されたお金(自動車重量税など)

用語の説明(歳入)



一般会計



用語の説明(歳出)

- 民生費：福祉の充実などに使われたお金
- 土木費：道路や橋、公園などの施設の整備などに使われたお金
- 公債費：大きな事業を行うために借りたお金の返済に支払われたお金
- 衛生費：健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われたお金
- 総務費：市税、選挙、戸籍の事務や市の発展のための計画を作るために使われたお金
- 教育費：小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興に使われたお金
- 消防費：市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われたお金
- 農林水産業費：農林水産業の振興に使われたお金
- 商工費：商工業や観光の振興に使われたお金
- 議会費：市議会を運営するために使われたお金
- 労働費：働く人たちの福祉などに使われたお金

困 財政課  
☎30-6107  
FAX22-1398